取扱説明書 ―― 保管用

白熱灯ブラケット

（壁付け専用型）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方や電球の交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
　　　　　　一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕　様

品　番	適合電球
BE-4820	E17　ＰＳクリプトン電球６０Ｗ以下×１灯

この取扱説明書のマークについて

⚠ 警告　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注意　説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗ このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⃠ このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

⚠警告

一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

次のような場所には取り付けないでください。
○壁面以外の場所
○補強材の無い場所への取り付け（ボックスに取り付ける場合を除く）
○石膏ボードなど弱い建材面への取り付け
○樹脂製ボックスカバーへの取り付け
（埋め込みボックスに取り付ける場合は、必ず金属製ボックスカバーに取り付けてください。）
○凸凹のある面には取り付けないでください。
★いずれの場合も器具の落下による器具、その他の破損やケガの原因となります。
○サウナへの使用
★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

取り付け方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下による「けが」の原因となります。

ドライバーなど異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⚠注意

この器具は周囲温度５℃～３５℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

ＡＣ１００Ｖ専用です。必ずＡＣ１００Ｖの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。

温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。

ヒビの入ったカバーや一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明営業所までご連絡ください。）

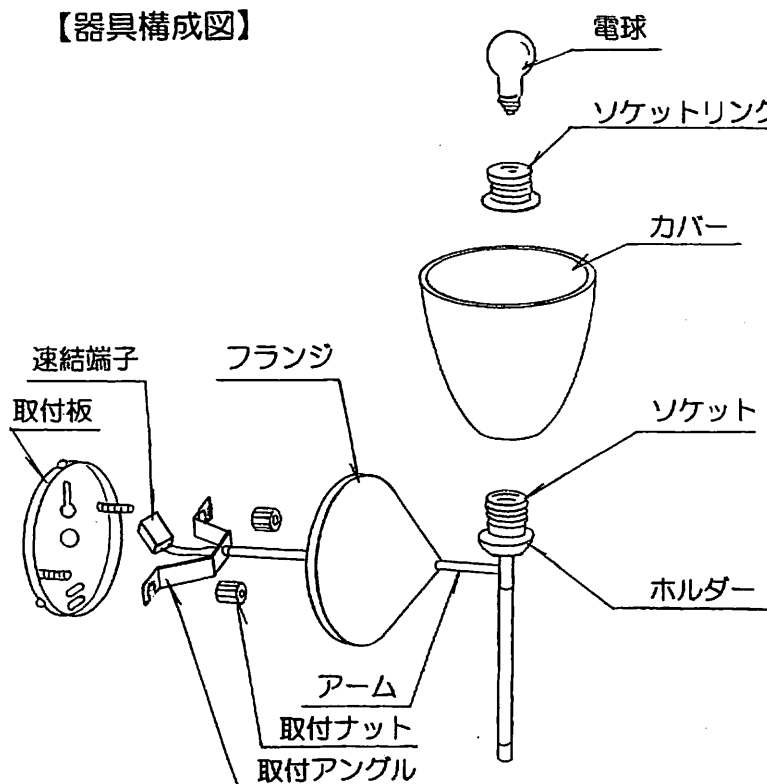
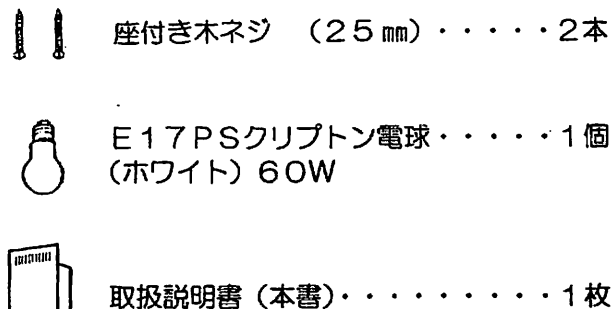
【器具構成図】

電球
ソケットリング
カバー
速結端子
取付板
フランジ
ソケット
ホルダー
アーム
取付ナット
取付アングル

【付属品】

座付き木ネジ　（２５㎜）・・・・・２本

Ｅ１７ＰＳクリプトン電球・・・・・１個
（ホワイト）６０Ｗ

取扱説明書（本書）・・・・・・・・・・１枚

取り付け場所の確認

⚠警告

取付板は、必ず補強材のある場所に取り付けてください。
★補強材のない場所に取り付けると器具の落下故の原因となります。

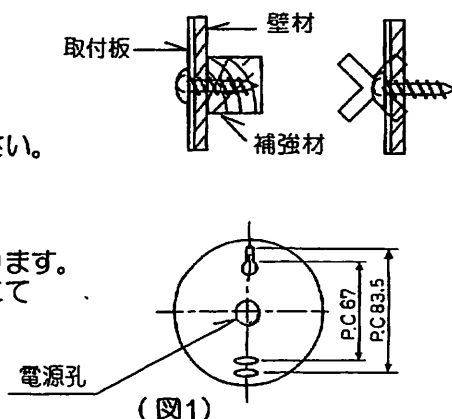
◆ボックスに取り付ける場合は、別途ボックス止め用のネジをご用意ください。

取付板
壁材
補強材

⚠注意

建築の構造によっては、付属の木ネジで取り付けられないことがまれにあります。
その様な場合には、器具取付場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。

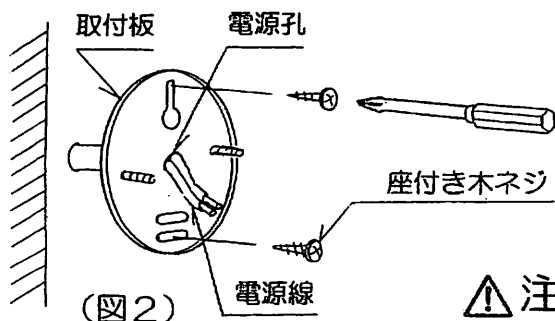
◆ 取り付けピッチと電源位置（図１参照）

（図1）

取り付け方　⚠注意　必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠警告

器具の取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

端子に差し込むケーブルは、必ずＶＶＦΦ1.6またはΦ2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲った芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故のとなります。

（図２）

１．取付板をセットします。

① 電源線を取付板の電源孔に通します。
② 付属の座付き木ネジで取付板を固定します。

上部の取付け穴が、ダルマ穴になっていますので、上部のネジをあらかじめ緩めに取り付けておくと楽に取り付けられます。

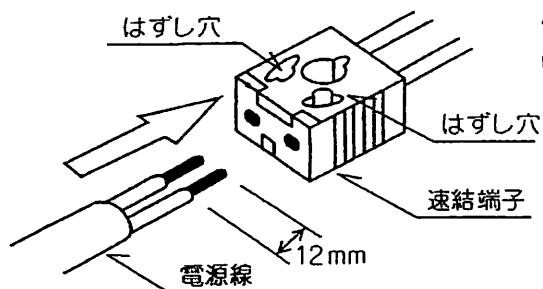
⚠注意　取付板の取り付け向きが指定されています。取付板の向きに注意して、正しい方向（図２）に取り付けてください。

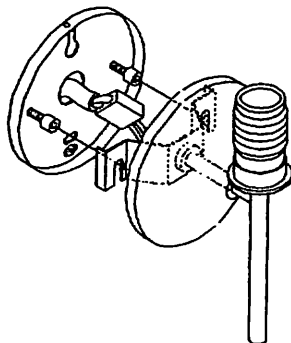
2. 電源線を接続します。

⚠ 警告

端子に差し込むケーブルは、必ずＶＶＦΦ1.6またはΦ2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲った芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。

① 電源線を速結端子のゲージ（１２㎜）に合わせて剥きます。
② 電源線を電源線差し込み穴に差し込みます。

※ 電源線をはずす場合は、幅６㎜のマイナスドライバーをはずし穴へ真っ直ぐ差し込むとはずれます。

3. 取付板に取付アングルを取付ナットで固定します。

①取付板の取付ナットを取付アングルの切り欠きに通します。
②取付ナットを締め込み取付アングルを固定します。

4. フランジを取付板のダボにはまるようにかぶせます。その際アーム保護の為に付いている梱包材を抜き取ってください。

つける
電球

カバー
ソケット
ホルダー

5. ホルダーにカバーを合わせます。ソケットリングをソケットにねじ込みカバーを固定します。

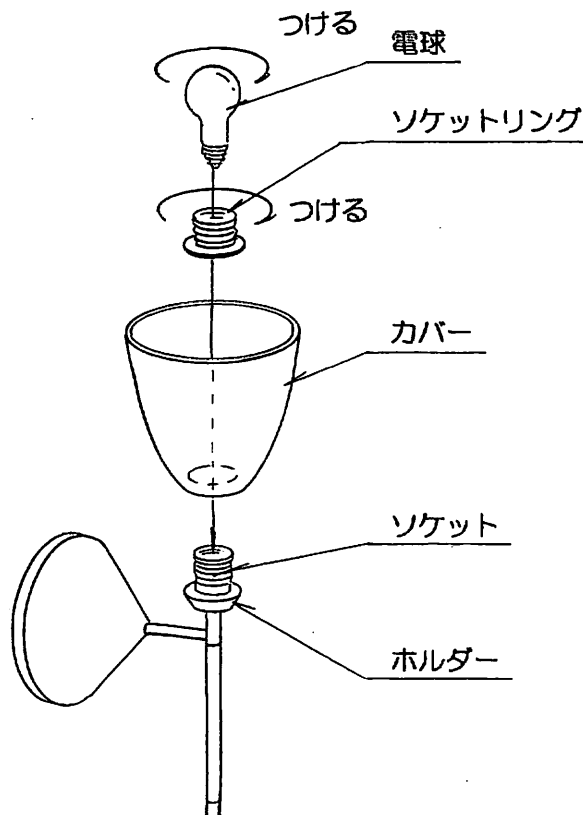
⚠ 注意

⊘ ソケットリングは、必要以上に締め込まないでください。
★ガラスカバーが割れる恐れがあります。

6. カバーの開口部から手を差し入れて電球をセットします。

⚠ 注意

⊘ 電球は乱暴に取り扱わないでください。
★電球割れ等の事故の原因となります。

❗ カバーにヒビが入っていたり、一部が欠けている場合には、ただちに新しいカバーと交換してください。
★カバーの破損、落下事故の原因となります。

スイッチ操作

壁スイッチにて「ＯＮ－ＯＦＦ」操作を行います。

OFF

● お手入れについて　⚠ 注意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠注意

●電球の交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★**感電事故の原因となります。**

●スイッチを切った直後の電球は熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。　**★火傷の原因となります。**
●濡れた手で触らないでください。　**★感電事故の原因となります。**

●電球は乱暴に扱わないでください。 **★電球が割れてけがをする恐れがあります。**
●適合電球以外の電球は使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しい電球をご使用ください。
★不適合な電球を使用すると異常加熱による火災の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

◆電球の交換

1．スイッチを切ります。

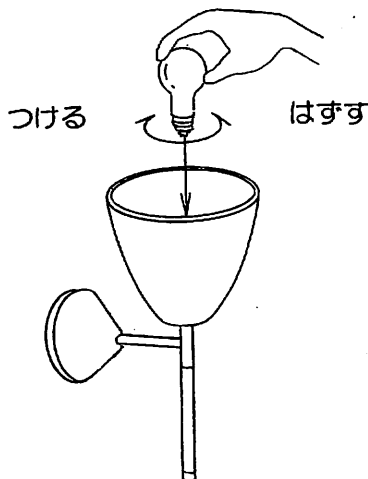
⚠注意

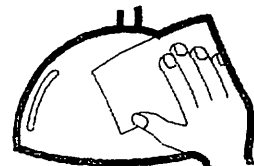
電球交換時、ぬれた手でさわらないでください。
★感電事故の原因となります。

2．カバーの開口部から手を差し入れて
電球交換を行います。

⚠注意

電球は乱暴に取り扱わないでください。
★電球割れ等の事故の原因となります。

カバーにヒビが入っていたり、一部が欠けている場合には、
ただちに新しいカバーと交換してください。
★カバーの破損、落下事故の原因となります。

◆お手入れのしかた

1．スイッチを切ります。
2．柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3．汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4．最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明営業所にご相談ください。